

新春のあいさつ

議長

倉持 功



輝かしい平成30年の新春を迎え、町議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、境町議会に対し、ご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

昨年7月の任期満了に伴う改選から、議員定数を12名に削減し、議会基本条例の趣旨にそって新たな境町議会がスタート致しました。

さて、昨年2月には、茨城県内における圏央道が全線開通し、境町民だけではなく、茨城県民の利便性、また茨城県の可能性が大きく広がりました。

町では、圏央道を最大限有

効活用し、流通や地域経済発展の促進、雇用確保のためインターチェンジ周辺開発を着実に進めております。

また、文化村のいこいの広場のリノベーションや、昨年9月からはじまった、境小学校をモデル校としての、フィリピン人英語講師によるスーパードローバルスクールモデル事業など、境町では様々な取組を行っています。

今年度3月には役場西側の駐車場を利用し、利根川の決壊や集中豪雨災害時に緊急避難場所として200人を収容できる水害避難水タワーが完成する予定です。

私たち議会は、未来に展望の持てる、安心・安全な住み

よい町づくりを目標に、町執行部と共に境町の両輪となり、町民から選ばれた住民の代表であるという責任と自覚を持ち、常に住民目線で町を見つめ、町民の皆様の負託に応えるべく身近で、開かれた議会を目指して、本年も関係各位との連携を深め、邁進していく所存であります。

結びに、境町の発展と町民の皆様のご健勝とご多幸を、心からご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

